

新総裁候補の発言でトーンダウンも方向性に変わらないだろう 横山 泰史

業種:日本株ストラテジー

ややハト派気味であった新総裁候補の答弁

先週24日に日銀の新総裁候補である植田氏の所信聴取がおこなわれた。答弁では当面、植田氏は大規模な金融緩和政策を維持する意向が示された。ややハト派気味の印象となったことから当時の金融市場では、①円安ドル高、②日経平均は上昇、③金利の上昇観測を織り込んでいた銀行株は下落、の結果となった。当日の植田氏の答弁を結論からいうと、特に目新しさがあるコメントはなかったことから確かにややハト派気味の印象を残したものの、金融正常化への道筋の方向性も大きく変化はないといった印象である。

量的緩和の継続は必要だろう

まず、量的緩和についてだが、確かに足元のインフレ率は前年同月比で4%を上回るものであるが、一時的な要因を除くとまだ政府・日銀目標の2%を上回る水準とはなっていない。そして、植田氏が答弁していたように、今年の年末のインフレは1%後半に落ち着くとの見方も特段に目新しさはない。よって、量的緩和は必要であるとの答弁も想定の範囲内であろう。ではなぜ当面は量的緩和を続けるのであろうか。それは、将来的に持続的なインフレ率2%を達成する目的のためである。

金利上昇の可能性はより高まってきた

繰り返しになるが、一時的な要因を除くと国内のインフレ率はまだ弱い。従って、将来の金融正常化のためにも現時点ではインフレを下支えする量的緩和の継続は必要な政策なのであるといえよう。YCC(イールド・カーブ・コントロール)についても量的緩和の継続が持続的なインフレ率を高める(金利上昇の要因となる)ものと考え、どこかのタイミングで変更することが予想される。つまり、今回の答弁では金融政策の変更はタイミング的には今ではないが、将来に向けての可能性はより高まったとみており、金利上昇で恩恵を受ける銘柄(銀行・保険)への注目は継続したい。

東京市場マーケットデータ

2023/2/24 現在

日経平均	2万7453円
プライム売買代金	3兆339億円
プライム時価総額	708兆4433億円
日経平均予想PER	13.0倍
日経平均PBR	1.2倍
日経平均配当利回り	2.2%

出所: Quick

日経平均パフォーマンス

昨年来高値	2万9388円	2022年01月05日
昨年来安値	2万4681円	2022年03月09日

出所: Quick

国内株式売買代金ランキング

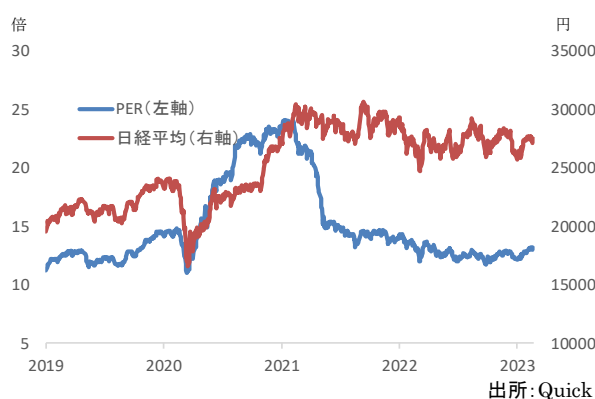
2023/2/24 現在

株価前日比

1	レーザーテック	4.1%
2	東京エレクトロン	7.1%
3	三菱UFJFG	▼1.2%
4	三井住友FG	▼1.5%
5	日本郵船	4.1%
6	商船三井	3.2%
7	日本製鉄	▼0.9%
8	アドバンテスト	8.2%
9	川崎汽船	3.6%
10	ソニーグループ	2.1%

出所: Quick、アイザワ証券作成

日経平均と予想PERの推移



金融商品取引法に基づく表示事項

■本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等

商号等：アイザワ証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 3283 号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

当社が契約する特定第一種金融商品取引業務に係る指定紛争解決機関：

特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター（略称：FINMAC）

株式の主なリスク

株式は株価の変動等により、損失が生じるおそれがあります。お取引の際は、契約締結前交付書面をよくお読み下さい。

お客様にご負担いただく手数料等について

国内株式は、取引口座に応じて以下の委託手数料（税込）をいただきます。

対面口座：約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

インターネット口座「ブルートレード」：インターネット発注 最大 1,650 円

コールセンター発注 約定代金が 55 万円以下の場合 1,650 円、

約定代金が 55 万円超 3,000 万円以下の場合 3,300 円

コンサルネット発注 約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

アイザワ証券 免責事項

本資料は証券投資の参考となる情報の提供を目的としたものです。投資に関する最終決定は、お客様ご自身による判断でお決めください。本資料は企業取材等に基づき作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。結論は作成時点での執筆者による予測・判断の集約であり、その後の状況変化に応じて予告なく変更することがあります。執筆担当者または弊社と本レポートの対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。このレポートの権利は弊社に帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

LINE公式アカウント
はじめました！

ベトナムを中心としたアジア情報
をお届けします。

[友だち追加はこちらから！](#)



ID : @aizawa